

こちら 道立羽幌病院 です

小児科 須貝先生のお話し

「せき (3)」



「気管支」のせきは、多くは
ありませんが、肺炎や気管支
炎、ぜん息などを含み、症状
は最も重いものになります。

気管支には細菌やウイルス
が入りこんで増えていくと、
そこに炎症を起こし、せきと
熱が出ます。このせきは入り
こんできたものを外に出す、
体の防御作用です。これが
「気管支炎」で、さらに悪化す
ると「肺炎」につながるこ
ともあります。

肺炎ではよく胸の音がよく
ないと医師に言われるので、
ゼーゼーと音がすると心配に
なると思います。

しかし、肺炎の音は聴診器
を使わないと聞こえない程度
のかすかなもので、ゼーゼー
とよく聞こえる音は肺炎の音
ではありません。

また、熱はなく、夜から朝
にかけてのせきと息苦しさが

ある場合、「ぜん息」である可
能性があります。

これは、主にアレルギーが
原因で、気管支が炎症を起こ
して狭くなり、そのため息が
吐きにくくなるために起こる
症状です。ヒューヒューとし
た高い音が息を吐くときに聞
かれます。吸入などが必要な
ことが多いので、苦しいとき
は時間にかかわらず受診した
ほうがいいでしょう。

また、症状は繰り返される
可能性があり、病院での指示
に従ってください。

「気管支」のせきの治療の際、
気管支を広げる薬や痰を取り
除く薬が処方されます。市販
されている単純にせきを止め
るだけの薬を使うと、せきは
止まっても痰が出しにくくな
り、症状を悪化させることが
あります。せきは痰を出すた
めの役割もあるからです。